

はじめに

アメリカに来てから 9 ヶ月が過ぎ、とうとう留学も最後となりました。初めてアメリカに来た当時は英語が一切聞き取れず、しゃべることもほとんど出来ませんでした。そのためいつもコミュニケーションを取る時はいつも苦労していました。また、環境や文化、宗教の違いに戸惑うこともありましたが、しかし、9 ヶ月が過ぎるころには、英語でコミュニケーションが徐々に取れるようになってきました。そして、いろいろな面で違いがあることは当たり前なことだと許容できるようになってきました。



アメリカで実際に生活してみて、ここでの生活が自分と合っていることに気づくことが出来ました。今後 RIT の学生として過ごすことは無いですが、ここで得たものは将来の自分にとって宝物になると確信しています。今は留学出来て本当に良かったと感じています。

English Language Center (ELC)での活動

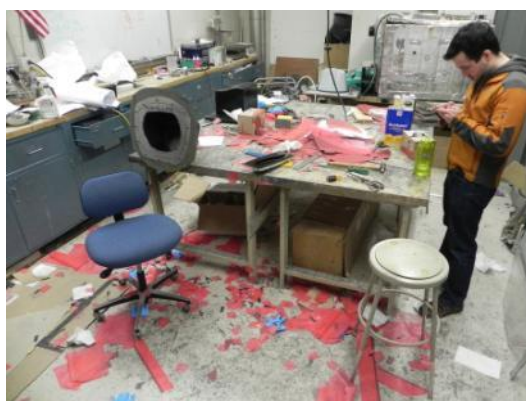
これで ELC の授業が最後かと思うと、もっと英語の勉強をしておけばよかったと少し後悔しています。そして、ELC の授業も学期末となり、最後のテスト等が増えてきました。そして、それらのテストも終了し、ELC では学期が終了したお祝いパーティーが開かれました。ここで私は友達や先生と別れを惜しみつつ、最後の ELC イベントを楽しみました。





フォーミュラ SAE チームの活動

今月は新車両が完成予定日間近のため、先月に比べ更に活動の忙しさが増してきました。私自身もほぼ毎日活動に参加し、夜遅くに帰る生活を続けています。しかし、今月でこの活動も最後なので出来る限りチームに貢献したいと思いました。



今月はメインメンバーのみで行われるデザインミーティングに数回参加しました。内容に関しては理解できなかったですが、ミーティング進行の仕方、時間の使い方等、チームを運営する上で非常に参考になりました。



そして私が帰国する前にチームメンバーが私のためにパーティーを開いてくれたのが本当にうれしかったです。その日のパーティーはアメリカに来てから最もクレイジーなものとなり、素晴らしい思い出になりました。

帰国日にチームに挨拶をしてから帰りました。学期が終わり休みに入ってしまったため人がおらず、最後に挨拶をした人に会えなかったのが残念でした。また、集合写真を撮ることが出来なかったのが少し残念です。



大学に入ってからずっとこの FSAE 活動が続けてきて、最後に RIT メンバーの一員として活動できたことは、締めくくりとしては本当に良かったと感じました。



寮での生活

RIT に来てからずっと寮での生活をしてきました。9 月以降はルームメイトが出来て、1 つの部屋に 2 人で住む生活が続けてきました。そして、寮には基本的に RIT の 1 年生が住んでいるため、RIT の学生の友達も数多く出来ました。また、彼らと一緒に生活するためには英語をしゃべることが必要でした。これは当初の私にとって非



常に辛いことでした。何を話しているかもわからなければ、思うように自分の話を伝えられなかったからです。しかし、最近ようやく今までよりも皆の話が分かるようになり、話も伝えられるようになりました。もっとお互い理解を深めたいと思っていましたが、帰国によってそれが出来なくなり、本当に残念です。学期の最後には知っている友達が次々と実家に帰って行き、それを見送らなければならなかったのが本当に辛かったです。この寮生活が無ければ RIT の学生と親密な仲になることもなく、アメリカ人の生活文化に触れることも出来なかったと思います。留学して寮で生活出来きたことは本当に良い経験でした。

おわりに

この留学を通して本当にたくさんの貴重な経験が出来ました。この経験は私の今後の人生に大きく影響を及ぼすと思っています。今回このような留学の機会を下さった金沢工業大学の皆さま、私の留学をサポートしていた国際交流室の皆さま、いつもご指導して頂いた加藤聡教授、そして、私のわがままのために多くの迷惑をかけたプロジェクトメンバー、友人、家族には本当に感謝しています。この 9 カ月間、アメリカに留学をさせて頂き本当にありがとうございました。